

27 年度指導方法の課題分析と具体的な改善策及び補充指導などの計画 教科 社会科

学年	指導方法の課題分析	具体的な授業改善策	補充・発展指導計画
1 年	<p>○生徒が一つの事柄を深く考え、考えたことを表現する力が足りない。生徒自身が、自ら課題を見つけ、疑問をもち、その答えを考える、あるいは答えを導き出すための発問や資料の活用を準備、工夫する。</p> <p>○生徒の学力や理解力にあった内容の授業、発問、定期考査の作成等を行う。</p>	<p>○授業の中で、生徒の思考が深まるような、その時間のメインとなる発問を明確にする。また、単元に一回は、グループで話し合い、その内容を発表する場を設定する。</p> <p>○机間巡視、授業内テスト（小テスト）で生徒の理解度や生徒一人一人の実態を把握する。</p>	<p>○小さな事柄でも、生徒に考える癖をつけるために生徒に聞きながら授業を進める。また、話し合いがスムーズに進み、充実した場となるよう、日々の授業の中で生徒が積極的に発言できる雰囲気や人間関係を作っていく。</p> <p>○單元ごとに、まとめの時間を設ける。</p>
2 年	<p>○平成 27 年度の学力調査の結果より、読み解く力については東京都平均を 9% 上回っており、着実に力が定着している様子が読み取れる。</p> <p>一方、教科の内容については、東京都平均 5.2% 上回っているものの、60% に達していないので、基礎的な知識の定着を図るため、基礎知識を身に付ける学習を取り入れることが課題である。</p>	<p>○大きい絵資料や地図資料を準備し、視覚で理解する工夫をする。</p> <p>○生徒の発達段階を考慮して理解しやすい言葉を用いたり、わかりやすい発問の仕方を心がける。</p> <p>○資料、図を活用し、自分の考えをまとめる技術を身に付ける。</p> <p>○机間巡視や授業内テストを行い、生徒の理解度や生徒一人一人の実態を把握する。</p>	<p>○意見を発表する機会を設け、発表技術を身に付ける。</p> <p>○発問などを工夫し、生徒の言葉から授業を展開していく。</p>
3 年	<p>○社会科に関する興味・関心の差が大きく、それが知識への差にもなっているようである。まず、興味・関心を育て、基礎的な知識を定着させるように指導をする。</p> <p>○身近な事例を取り上げ生徒の意欲関心を高める。</p>	<p>○株式学習ゲームや模擬裁判などの参加型の授業を実施し、生徒の興味・関心を高める。</p> <p>○常に何故そうなるのか、疑問を持ち、それに対する答えを自分自身で見つける、そのような授業をおこなうように心がける。</p>	<p>○授業規律を確立しつつ、楽しく授業を進めるように心がける。</p> <p>○授業中に出てきた生徒の言葉から授業を展開していく。</p> <p>○各章の終わりにまとめの為、市販のワークシートを配布し、学習内容をまとめていく。</p>